



# 可茂消防事務組合

KAMO FIRE DEPT.



笑顔の  
のために

この  
まちな

令和5年4月発行



# 可茂消防事務組合



凡例

- 消防本部
- 消防署
- 救急ワークステーション  
分署・出張所・分遣所



## ● あらまし

可茂消防事務組合は、昭和45年4月1日に1市7町村（美濃加茂市、坂祝町、富加村、川辺町、八百津町、可児町、御嵩町、兼山町）により組合を発足、その後3町村（七宗町、白川町、東白川村）が昭和56年4月1日に加入し、現在は2市8町村（美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町）で構成されています。

令和4年2月に、美濃加茂市健康のまち1丁目に救急ワークステーションを開設し、救急隊員の知識、技術の向上を図り、可茂地域の救急救命体制の充実強化に繋げています。

管内に1消防本部、1救急ワークステーション、3消防署、3分署、4出張所及び2分遣所を配置し、職員276名により消防業務を遂行しています。（令和5年4月1日現在）

## ● 出場件数

		令和3年	令和4年
火災件数		75件	71件
救急件数		8,193件	9,874件
救助件数		87件	96件



● 勤務形態  
 毎日勤務 : 平日 8時30分～17時15分

交替勤務 : 24時間勤務  
 8時30分～翌日の8時30分  
 非番日、週休日を設け、3交替で勤務



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
勤務日		週休日	勤務日		週休日	勤務日		週休日	勤務日		週休日	勤務日		週休日	勤務日		週休日	勤務日		日勤日	勤務日

● 主な業務内容



警防業務



火災発生時に消火部隊を編成し現場へ急行、火災防ぎ・消火活動を行います。また災害や事故現場で救助が必要な場合は救助隊が同時に出動します。



救急業務



病気やけがをした人を現場等において応急手当、救命処置を実施し、適切な医療機関へ迅速に搬送します。



予防業務



災害による被害を未然に防ぐため、建物に火災予防上で危険なところがないか、消火器などの消防用設備等が法令に基づき正しく設置されているか、審査・指導・検査を行います。



通信指令業務



管内で発生する火災・救急・救助など全ての「119番通報」を受付し、消防署の消防隊や救急隊へ出動指令を行います。

● 救急ワークステーション



救急出動体制を維持しながら平常時には救急救命士が隣接医療機関の救急救命室で実習を行ったり、救急ワークステーション内の研修室で救急シミュレーション訓練を行い、救急医療に関する知識、技術の向上を図っています。



## 今井 元基消防副士長

気付いたときには消防士を目指していました。どれだけ困難な状況下においても、一人でも多くの方の命を救うため懸命に活動する消防士の姿にとっても憧れました。

私たちが現場に出動するときは、地域住民に危険や不安が及んでいることとなりますので「事案がなく平和な一日だったな。」と職場で話げできたときは、私は安堵感でいっぱいになります。

「災害は起きてはならない。」と願いながらも、災害が発生したときには、日々の訓練で習得した知識、技術を最大限に活かし、全力で災害に立ち向かいます。努力を続けられることが最大の魅力であり、やりがいであると感じています。

消防士は、人の命を救うことができる素晴らしい職業だと思います。身に付けた知識、技術は地域住民の安全、安心のために繋がると信じています。「誰かのために・・・」という思いがあるのなら、私たちとともに大切な命を守る勇敢な消防士を目指しましょう！

## 片岡 宝子消防士

大学生の頃、私は地域住民の役に立つ仕事がしたいと思い、美濃加茂市で行われた公務員合同説明会に参加しました。そこで、消防という仕事に魅力を感じ消防士を目指すようになりました。

現在、私は警防隊員として、あらゆる災害から地域住民の生命、身体、財産を守っています。地域住民の方々から感謝の言葉をいただいたときは、やりがいを感じています。また、私はまだ経験値が浅く学ぶことばかりですが、日々新しいことを知識として吸収できていることもやりがいの一つだと考えています。

消防士という仕事は、まだまだ女性消防士が少ないです。しかし、女性だからこそ役に立てる仕事もあり、やりがいを感じられると思います。女性に限らず、地域住民の役に立つ仕事がしたいという方、私たちと一緒に消防署で働きませんか？



## 大石 大喬消防士

高校生のときに、将来は人の役に立つ仕事に就きたいと考えていました。医療関係の仕事を勧められる中で、医療の最前線で活躍することができる救急救命士という職業に興味をもちました。救急救命士として多くの人を助けたいと思い、消防士を目指ようになりました。

自分の培ってきた知識・技術が、助けを必要としている人のために発揮できることや、救急搬送した傷病者の家族の方から感謝の言葉を頂いたときにやりがいを感じています。

消防士は、人のために働くことができる職業ですが、危険と隣り合わせの現場も多くあります。現場で、最大限の力を発揮するために、日々の訓練に真剣に取り組んでいます。「地域のために、人の役に立ちたい」という思いがあるのなら、私たちと一緒に地域住民のために活動できるよう頑張りましょう！！